

多面的機能の維持・発揮活動

【施設部門】

きたくろだちいきしげんほぜんかい
北黒田地域資源保全会（津市）

よみがえらそう！めぐみ豊かな農地を！！

活動の状況（認定農用地面積A=18.78ha）

（組織の「黒田郷・久呂多」は平安時代からある地区で、鶴が社殿上空に飛来し稲穂を落としていったと伝えられる通称「稲降神社」がある。そんな歴史ある農耕に適した土地で作られる「黒田米」はブランド米として有名である。

基盤整備等が行われていない農地が多く、効率的な耕作が出来ない状態である。

「明日の北黒田農業をみんなで考える会」を自主的に設立し、これをブラッシュアップして平成28年に「北黒田地域資源保全会」を立上げ、現在まで多面的に活動している。

主な農地維持活動としては、農道・水路・ため池の除草、施設の点検等を実施。

環境保全活動として自治会・老人クラブ・子供会と連携し美しい北黒田郷を後世に引き継ぐ活動として、花いっぱい運動等を展開中である。

また、地元小学校との連携により、田植えや稲刈りなど農業体験を通じて次世代を担う児童にPRしている。

一方、農道の舗装計画に基づき平成29年度から「施設の長寿命化」に取り組み、自主施工でコンクリート舗装を精力的に実施している。

花いっぱい運動



水路の点検



ため池法面の草刈り



農道舗装工事を自前で実施！！



小学生の田植え体験